

令和8年度 小平市立小平第二中学校 学校評価計画表						
学校教育目標		教育基本法及び学校教育法の精神に則り、平和で民主的な国家・社会の形成者として、世界に貢献できる有為な日本国民の育成を目指し、次のような人間像を学校の教育目標とする。 1 自ら考え正しく判断し積極的に実践する人間 2 明るく健康で情操の豊かな人間 3 社会の一員として協力し向上につとめる人間 4 相手の人格や立場を尊重する人間				
目指す学校像(ビジョン)		【目指す学校像】 1 上級生が下級生のお手本になる学校 2 面倒見が良く、心の熱い教員のいる学校 3 落ち着いており、生徒・保護者・地域から信頼される学校 【目指す児童・生徒像】 1 自ら考え、正しく判断し、積極的に実践する人間 2 明るく健康で、情操豊かな人間 3 社会の一員として協力し、向上に努める人間 4 相手の人格や立場を尊重する人間 【目指す教師像】 面倒見が良く、心の熱い教員のいる学校。教職員一人一人が高い志をもち、組織力を高める教員。				
前年度までの学校経営上の成果と課題		○若手教員がのびのびと意欲的に業務に取り組んでいる。一方で若手教員の授業力を高めるとともに、ユニバーサルデザインとICTを組み合わせた、分かりやすい授業づくりに取り組むことが課題である。 ○スクールサポートスタッフの活用、資料のペーパーレス化など業務改善が少しずつ進んでいるが、教員の時間外勤務時間(平均)をさらに削減できるよう、行事の精選や通知表の運用の見直しなどを行う。 ○教員の異動によって新しい教員が増える中で、これまで築き上げてきた生徒指導等における知の継承が課題である。				
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)		成果目標(評価基準)
学力向上	学習習慣と授業規律を確立し、生徒の学力を向上させる。	授業における「二中スタンダード」を確立し、分かりやすい授業を行う。	授業の「ながれ」や「めあて」を示すなど、共通取組事項に基づいた授業実践を行う。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒アンケート調査で、肯定的回答80%以上	
		教員の指導力を向上させる。	全ての教員が年1回以上授業を教員同士で公開し、研究協議を実施する。	3 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上80%未満	3 生徒アンケート調査で、肯定的回答60%以上80%未満	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答40%以上60%未満	2 生徒アンケート調査で、肯定的回答40%以上60%未満	
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答40%未満	1 生徒アンケート調査で、肯定的回答40%未満	
健全育成（いじめ防止）	いじめのない明るく活気のある学校になる。	生徒のウェルビーイング(身体的・精神的・社会的によい状態)を高める。	昨年度の校内研究を生かし、生徒会活動や学級での係・委員会、班活動に積極的に取り組ませるために、生徒一人一人の出番をつくる。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒アンケート調査で、肯定的回答80%以上	
		いじめの未然防止、早期発見、早期対応を徹底する。	「ふれあい月間アンケート」を年3回、いじめ対策校内委員会を毎月第二火曜日に実施する。いじめを発見した際は組織的な対応で早期解決を目指す。	3 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上80%未満	3 生徒アンケート調査で、肯定的回答60%以上80%未満	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答40%以上60%未満	2 生徒アンケート調査で、肯定的回答40%以上60%未満	
		生徒の小さな変化に気付けるようになる。	WEBQUアンケート等を年2回以上実施し、生徒の学級での生活状況を把握し、その結果に基づき指導・助言を行う。	1 教職員の取組評価で、肯定的回答40%未満	1 生徒アンケート調査で、肯定的回答40%未満	
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 保護者のアンケート調査で、肯定的回答80%以上	
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上80%未満	3 保護者のアンケート調査で、肯定的回答60%以上80%未満	
	キャリア教育	将来の夢をもてるよう進路に関わる取組内容を充実させる。	外部人材を招聘した講演会を毎学期実施し、生徒が自身の生き方を考えられる機会を設ける。	2 教職員の取組評価で、肯定的回答40%以上60%未満	2 保護者のアンケート調査で、肯定的回答40%以上60%未満	
		将来の夢をもち、夢の実現のために真剣に授業や学校生活に取り組む生徒を育成する。	毎学期「キャリア・パスポート」のまとめを通して、自己理解を促進させる。	1 教職員の取組評価で、肯定的回答40%未満	1 保護者のアンケート調査で、肯定的回答40%未満	
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒の自己評価で、満足度80%以上	
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上80%未満	3 生徒の自己評価で、満足度60%以上80%未満	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答40%以上60%未満	2 生徒の自己評価で、満足度40%以上60%未満	
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答40%未満	1 生徒の自己評価で、満足度40%未満	
業務改善・働き方改革	全職員が働きがいを感じ、意欲的に働ける学校にする。	全校行事や学年行事を通して、より多くの生徒に感動体験をさせ、自信や誇りをもたせる。	生徒が主体的に関わる生徒会、委員会、実行委員会活動を実践するために、生徒(役員、実行委員等)が進行する場面を設定する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒の自己評価で、満足度80%以上	
		適切な勤務時間を実現する。	時間管理について「緊急ではないが重要なこと」の取組に注力するよう適宜指導を行う。	3 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上80%未満	3 生徒の自己評価で、満足度60%以上80%未満	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答40%以上60%未満	2 生徒の自己評価で、満足度40%以上60%未満	
		業務改善に係る教職員の意識改革を行う。	校務分掌ごとの年間計画の確認、優先度の低い業務の洗い出し、担当業務の割り振り状況確認と実態に合わせた再検討を行う。	1 教職員の取組評価で、肯定的回答40%未満	1 生徒の自己評価で、満足度40%未満	
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 教職員の自己評価で達成率が80%以上	
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上80%未満	3 教職員の自己評価で達成率が60%以上80%未満	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答40%以上60%未満	2 教職員の自己評価で達成率が40%以上60%未満	